

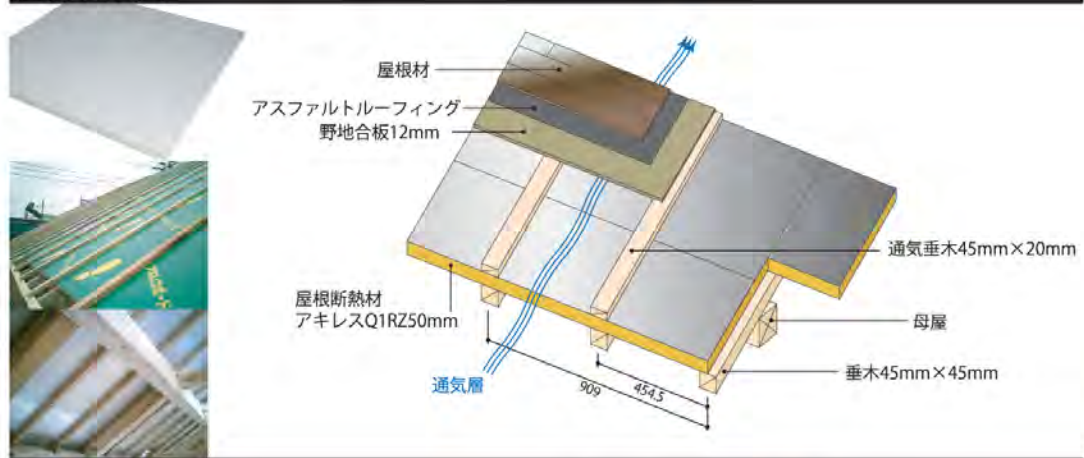
# まほうびん式 外張断熱工法

硬質ウレタンフォーム  
次世代省エネルギー基準等級4仕様

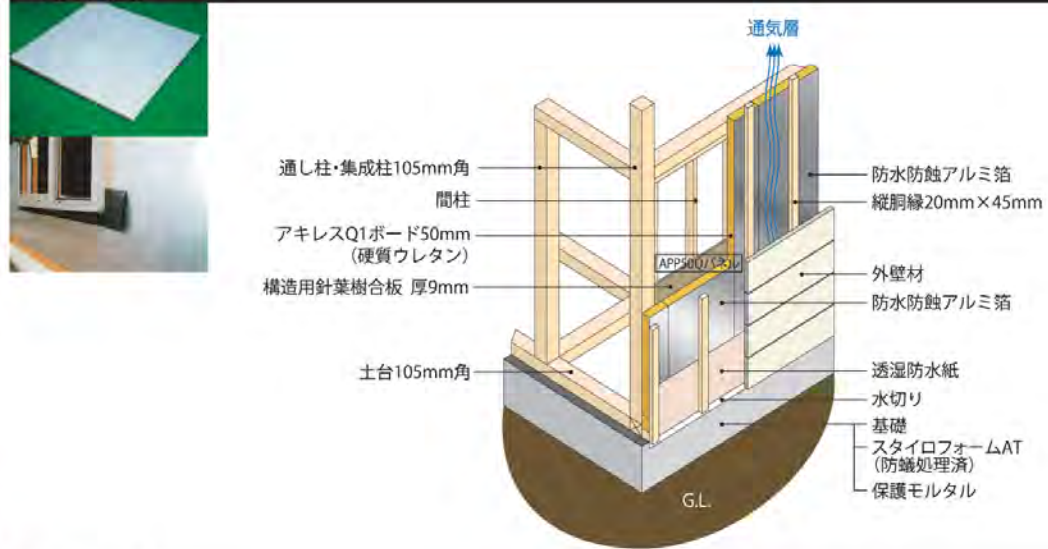
- 断熱材アキレスQ1ボードでくるんだ家
- 省エネの基本は断熱性を高めること

今、最も注目を集めている外張断熱工法の効果を、さらに高める次世代高性能断熱材として人気の高い『アキレスQ1ボード』。熱伝導率0.021W/(mk)、熱貫流率λ0.52W/m<sup>2</sup>Kという驚異の断熱性能を実現。わずか壁50mm・屋根50mmの厚さで、これまでの分厚かった断熱材の問題も解消しました。耐燃焼性能の安全性やフロンを使用しない等、断熱材として理想的な性能が特徴です。

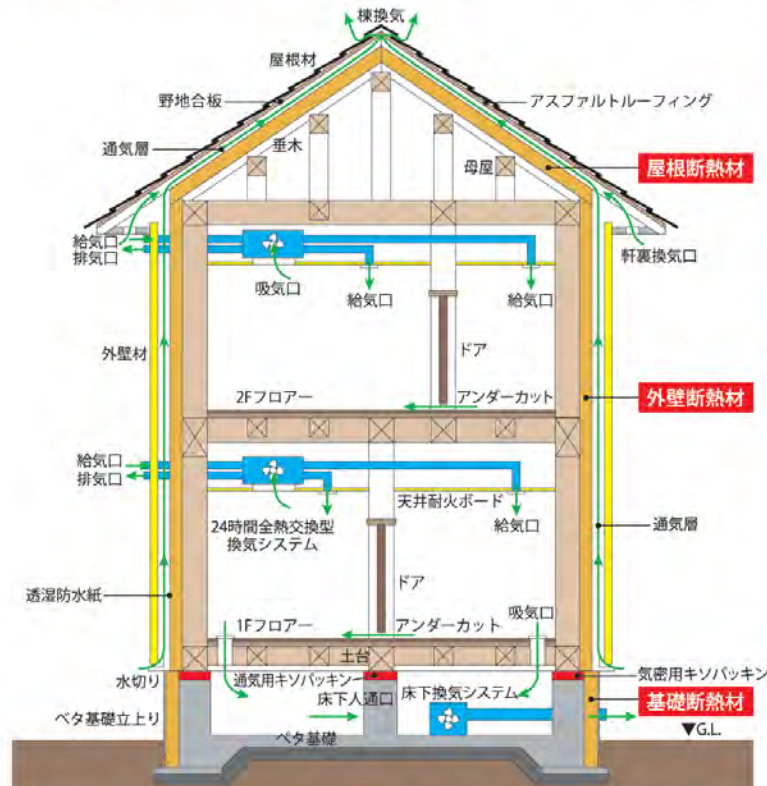
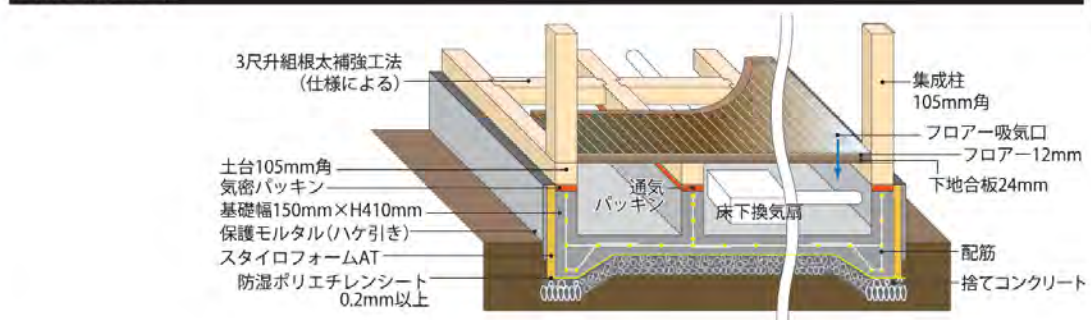
## 屋根のしくみ



## 壁のしくみ



## 基礎のしくみ



基礎外面、外壁面、屋根面全体を熱伝導率0.021w/(mk)、熱貫流率0.52w/m<sup>2</sup>Kという低い材料で包み込む『まほうびん式』状態で、外気と内気の温度を遮断状態にする為、夏の冷房・冬の暖房時の光熱費は、通常の家と比べかなり低減できます。

- アキレスQ1ボード50mmを柱壁の外側に張ります。
- 在来工法+木質系パネル工法(A P P 50 Q工法)によるモノコック構造です。
- 屋根にも野地ベニヤの内側にアキレスQ1ボード50mmを張ります。
- 基礎の外側にもスタイロフォームATを張ります。
- 室内換気は24時間全熱交換型システムで、室内空気は絶えず綺麗な空気にします。
- 床にスリットを開け室内の空気を床下に取込み、強制床下換気システムで床下(基礎内)も換気します。
- 屋根断熱材の外側、壁断熱材の外側に通気層を設け、そこを空気が流通するしくみとなります。

工法・構造  
structure

施工  
construction

120526⑥

外張断熱工法  
換気のしくみ

DATA

●商品によっては改良などにより、仕様・寸法・カラーなどに多少の変更が生ずる場合がありますのでご了承ください。  
●商品写真は印刷色のため、現物と若干異なりますので、実際の商品見本でお確かめください。